

9月26日(土) Dチームで 生きがい支援「どんぐりの杜」に行ってきました

●取材先

山口久美子さん及びどんぐりの杜のスタッフの方々

●どんぐりの杜とは？

「どんぐりの杜」は様々な方の生きがいを生み出す事を目的として立ち上げられた団体です。現在は子どもたち（1歳から小学生）をお預かりし、子育て中のお母さま方のお手伝いをされています。

実際に「どんぐりの杜」でいきいきしてみえる方に、みんなでインタビューをしました。



外観はとっても趣のある家屋！
とても居心地が良い場所です

◆◆◆「どんぐりの杜」で働くことの魅力とは◆◆◆

★何人くらいで、何人くらいの子どもさんを見ているの？

5年前に子ども3人でスタート。今は、夏休みで最大 30 人くらいの子どもをボランティア6人くらいでみています。

ここは、午前7時30分から午後6時30分まで、365日、オープンしています。

★どういう経緯でスタートしたの？

5年前に、「子ども相手のボランティアをしませんか？」と呼びかけたところ、40人ほどが集まりました。ボランティアを始めようという理由は、「退職するから」「身内に障がいを持った子がいるから」「手助けをしたい」など想いはさまざまでした。

私（山口さん）は、みんながどういう風にやりたいかをすくい上げて、ここを作っていたいと思っていたので、どういう形で進めていくか、40人で話し合いから始めました。最初は、みんな不安ばかりを言って、「ルールが…」「組織が…」と言う人もいたけれど、とにかく話し合いを重ねました。

話し合いばかりしていてもつまらないから、「動き出そう！」となりました。必要なおもちゃ等を買うお金がなかったから「バザーをしよう！」となったら、すごい人が集まりました。具体的に体を動かしたら、みんな楽しくなって、前に進むようになりました。

その後、大人の人数が、40 人が 15 人くらいに減って、「足りないね」となってポスティングをしたり、幼稚園にチラシを貼ったりしたら、幼稚園のお母さんが、子どもが幼稚園に行っている間に、ここの手伝いに来てくれたりもしています。

様々な年代の子どもたちが
一緒に遊んでいました！



★ボランティアさんはどんな方たち？

20 代～70 代半ばの全部で、今は 20～24 人くらい。男性はそのうち3名くらい。ボランティアさんには、その人の希望以上に協力をお願いしないようにしているけれど、何とか回っている状態です。

★ボランティアさんは、なんでここにやって来るとおもいますか？

私自身、子どもの成長を見られるのが、一番の楽しみ。子どもには、「なんでダメなのか」と結構厳しく怒っています。例えば、木の椅子（子どもサイズ）を引きずって運んでいたら、「壊れちゃうから、ちゃんと両手で持ち上げて運びなさい」と厳しく注意しています。だから小さい子どもでも、ちゃんと両手で持ち上げて運ぶようになる。子どもはスポンジが吸収するように理解してくれるのが、目に見えて分かって、楽しい。

親とも知り合いになり、親同士も知り合いになり、相談すると専門家ではない良さで

様々な視点からのアドバイスが出来たりする。“専門家じゃないから、正解がない”というところが素敵だなと私は感じています。



外では子どもたちと遊ぶのは
もちろん庭の手入れをしたり
皆さんそれぞれ好きなことを

★ボランティアさんに謝礼はあるでしょうか？

保育料（一般的なものよりは安い）から、経費（おやつ代、保険代等）を引いたものを、働いた分、時間割で支払っています。月によって違うけれど、時給は 200 円～500 円くらい。

子どもを見るだけでなく、敷地内の畑で野菜を作ったり、スタッフの食事を作ったり、朝の掃除、薪の準備、建物の修繕をするというボランティアさんもいらっしゃいます。自分たちで、やりたいこと、やれることを見つけてやっているという感じ。

月に1回、全員が集まって、運営に不都合なことはないか話し合ったり、子どもの情報を共有したりしています。例えば、子どもが嫌いなものを食べないときは、どうしたら食べられるようになるか、みんなでその方法を相談しています。

★ボランティアさん同士、もめたりすることもありますよね??

大人同士が上手くいかないときは、その人の行動を注意するのではなく、「ここは何を目的に、何も目指しているのか」を、スタッフ同士で話し合っ共有するようにしています。

それぞれがやりたいことをやれるように、「受け入れる」ことに大切にしています。

★人がいないときは、山口さんが連続で朝早い出勤が続くこともあると聞きましたが、山口さんのモチベーションを保つ秘訣は?

ここが好き!

子どもがいる、いないではなく、ここの自然を感じることができることが何より楽しい。

「楽しんで好きな事をしよう」という気持ちとても大切にされているよう



◆◆◆「どんぐりの杜」で実際に活動してみよう◆◆◆

★30代前半の方★

保育士補助をしている時ここへ見学に来ました。幼児を連れて来ながら、他の子どもさんとも一緒に遊ばせることが出来て、楽しみが増えました。週1回ほど参加しています。

★60代前半の方★

ここがすべての生きがいとは思いませんが、自分の生き方の一環として居心地が良いので週2~4回、時間があれば来ています。続けていけるのは、いろいろな世代の方との交流があり様々な意見を聞くことが出来るところがたいへん興味深い。そしてここが好きだから。

★70代男性の方★

0才児のいないないばあの笑顔や歩き始める過程などに接していると自分にも元気や勇気が湧いてきます。

無事に健康で退職出来て、これからは世の中に恩返ししたいと考え、10年余り毎日の

ようにボランティアに励んでいます。どんぐりの杜の子どもの自我の発達に喜び、接しています。日々考えることが多いです。

人の幸せは各自感じ方が異なるから、幸せを広めるのであればもっと身近なところから広めていけば良いと思います。

★70代女性の方★

私が参加している理由はとてもシンプルで「行くと楽しいから」。杜の自然や子どものにぎやかな声、それに小鳥の参加。とても素敵な空間です。